

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
【発行日】令和 2 年 10 月 22 日 (2020.10.22)

【公表番号】特表 2019-531035 (P2019-531035A)  
【公表日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)  
【年通号数】公開・登録公報 2019-043  
【出願番号】特願 2019-518514 (P2019-518514)  
【国際特許分類】

H 0 4 W 16/14 (2009.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 16/14

H 0 4 W 72/04 1 3 1

【手続補正書】  
【提出日】令和 2 年 9 月 9 日 (2020.9.9)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

ワイヤレスデバイスにおけるワイヤレス通信のための方法であって、  
複数のネットワーク動作エンティティによって共有される無線周波数スペクトル帯域の送信間隔のための、前記ワイヤレスデバイスの優先権を識別するステップであって、前記ワイヤレスデバイスの前記優先権がサブ間隔への前記送信間隔の近接度に少なくとも部分的に基づく、ステップと、

前記送信間隔のいくつかのクリアチャネル評価 (CCA) スロットの各々における所定の送信タイプの不在を識別するステップであって、前記いくつかの CCA スロットの各々は、前記ワイヤレスデバイスの前記識別された優先権よりも高い優先権に関連付けられる、ステップと、

前記ワイヤレスデバイスの前記優先権よりも高い前記優先権に関連付けられた前記いくつかの CCA スロットの各々における前記所定の送信タイプの前記識別された不在に少なくとも部分的に基づいて、前記無線周波数スペクトル帯域を介して通信するステップとを含む方法。

【請求項 2】

通信する前記ステップは、

前記無線周波数スペクトル帯域を介してプリアンプルを送信するステップであって、前記プリアンプルは前記送信間隔の CCA スロット中に送信され、前記 CCA スロットは、前記ワイヤレスデバイスの前記優先権に関連付けられる、ステップと、

前記送信間隔中に、前記無線周波数スペクトル帯域を介してデータを送信または受信するステップと、

前記プリアンプル中で前記送信間隔の長さをシグナリングするステップと、を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

通信する前記ステップは、

前記無線周波数スペクトル帯域を介して予約メッセージを送信するステップであって、前記予約メッセージは前記送信間隔の CCA スロット中に送信され、前記 CCA スロットは、前

記ワイヤレスデバイスの前記優先権に関連付けられる、ステップと、

前記CCAスロット中で、前記予約メッセージに 응답して、前記無線周波数スペクトル帯域を介して送信された確認応答メッセージを検出するステップと、

前記確認応答メッセージの前記検出に少なくとも部分的に基づいて、前記送信間隔中に、前記無線周波数スペクトル帯域を介してデータを送信または受信するステップとを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記予約メッセージは送信要求(RTS)メッセージを含み、前記確認応答メッセージは送信可(CTS)メッセージを含む、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記所定の送信タイプは、プリアンプル、予約メッセージ、送信要求(RTS)メッセージ、確認応答メッセージ、送信可(CTS)メッセージ、またはそれらの組合せのうちの少なくとも1つを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記送信間隔は第1の送信間隔であり、前記方法は、

前記無線周波数スペクトル帯域の第2の送信間隔のための、前記ワイヤレスデバイスの第2の優先権を識別するステップであって、前記第2の優先権は、前記第1の送信間隔のための、前記ワイヤレスデバイスの前記優先権とは異なる、ステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

前記いくつかのCCAスロットの各々の間に前記無線周波数スペクトル帯域を監視するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

ワイヤレスデバイスにおけるワイヤレス通信のための装置であって、

複数のネットワーク動作エンティティによって共有される無線周波数スペクトル帯域の送信間隔のための、前記ワイヤレスデバイスの優先権を識別するための手段であって、前記ワイヤレスデバイスの前記優先権がサブ間隔への前記送信間隔の近接度に少なくとも部分的に基づく、手段と、

前記送信間隔のいくつかのクリアチャネル評価(CCA)スロットの各々における所定の送信タイプの不在を識別するための手段であって、前記いくつかのCCAスロットの各々は、前記ワイヤレスデバイスの前記識別された優先権よりも高い優先権に関連付けられる、手段と、

前記ワイヤレスデバイスの前記優先権よりも高い前記優先権に関連付けられた前記いくつかのCCAスロットの各々における前記所定の送信タイプの前記識別された不在に少なくとも部分的に基づいて、前記無線周波数スペクトル帯域を介して通信するための手段とを備える装置。

【請求項9】

通信するための前記手段は、

前記無線周波数スペクトル帯域を介してプリアンプルを送信するための手段であって、前記プリアンプルは前記送信間隔のCCAスロット中に送信され、前記CCAスロットは、前記ワイヤレスデバイスの前記優先権に関連付けられる、手段と、

前記送信間隔中に、前記無線周波数スペクトル帯域を介してデータを送信または受信するための手段と、

前記プリアンプル中で前記送信間隔の長さをシグナリングするための手段と、  
を備える、請求項8に記載の装置。

【請求項10】

通信するための前記手段は、

前記無線周波数スペクトル帯域を介して予約メッセージを送信するための手段であって、前記予約メッセージは前記送信間隔のCCAスロット中に送信され、前記CCAスロットは、前記ワイヤレスデバイスの前記優先権に関連付けられる、手段と、

前記CCAスロット中で、前記予約メッセージに応答して、前記無線周波数スペクトル帯域を介して送信された確認応答メッセージを検出するための手段と、

前記確認応答メッセージの前記検出に少なくとも部分的に基づいて、前記送信間隔中に、前記無線周波数スペクトル帯域を介してデータを送信または受信するための手段とを備える、請求項8に記載の装置。

【請求項 1 1】

前記予約メッセージは送信要求(RTS)メッセージを含み、前記確認応答メッセージは送信可(CTS)メッセージを含む、請求項10に記載の装置。

【請求項 1 2】

前記所定の送信タイプは、プリアンプル、予約メッセージ、送信要求(RTS)メッセージ、確認応答メッセージ、送信可(CTS)メッセージ、またはそれらの組合せのうちの少なくとも1つを含む、請求項8に記載の装置。

【請求項 1 3】

前記送信間隔は第1の送信間隔であり、前記装置は、

前記無線周波数スペクトル帯域の第2の送信間隔のための、前記ワイヤレスデバイスの第2の優先権を識別するための手段であって、前記第2の優先権は、前記第1の送信間隔のための、前記ワイヤレスデバイスの前記優先権とは異なる、手段をさらに備える、請求項8に記載の装置。

【請求項 1 4】

いくつかのCCAスロットの各々の間に前記無線周波数スペクトル帯域を監視するための手段をさらに備える、請求項8に記載の装置。

【請求項 1 5】

少なくとも1つのプロセッサによって実行されると、請求項1～7のいずれか一項に記載の方法を実行するための命令を有するコンピュータプログラム。